

**〔成果情報名〕 紫ピンクの花色のカーネーション新品種候補系統「長崎3884」**

〔要約〕 カーネーション「長崎 3884」は、スプレータイプで、流通量の少ない紫ピンクの花色である。株の仕立てが容易で、花にボリュームがあり、花持ち日数が長く、茎が硬く切り花に重量感があり、ブラインドの発生が少ない、すぐれた系統である。

〔キーワード〕 カーネーション、スプレータイプ、有望系統

〔担当〕 農林技術開発センター・農産園芸研究部門・花き・生物工学研究室

〔連絡先〕 電話 (代表) 0957-26-3330 (直通) 0957-26-4319

〔区分〕 花き

〔分類〕 普及

---

**〔背景・ねらい〕**

カーネーションは本県花き生産における主要品目の1つである。近年、コロンビア等からの輸入増加に伴う国際競争が激化し、日本の栽培農家は経営の危機に瀕している。

産地の栽培面積の3割をピンク色の品種が占め、最も出荷量が多い花色である。中でも‘濃いピンク’は品種数が少なく生産者は‘濃いピンク’の開発を切望していた。そこで、「長崎カーネーション」のブランド化を推進するため、本所で交配した系統のうち、濃いピンクである紫ピンクの花色で、切り花に重量感があり茎が硬く花型・草姿がすぐれる有望系統「長崎3884」を、主要品種「ライトピンクバーバラ」「レジーナ」と比較し、特性を明らかにする。

**〔成果の内容・特徴〕**

1. 「長崎3884」は、スプレータイプのカーネーションで紫ピンクの花色、丸弁で開花開始時に花弁が外側から順に開く「バラ咲き」と言われる咲き方をする(写真1)。
2. 切り花長は、10月に若干短くなるが、11月から70cm以上となる。また、秋季1番花から下垂度1.0と茎が硬く、切り花重が重い(表1)。
3. 輪数は4~5輪で、ブラインドの発生が少ない(表1)。
4. 1次摘心後萌芽数は6.1本と多い(表2)。
5. 花梗長は対照2品種より短くまた、2次花柄長が短い。(表2、写真1)。
6. 花径大きく、花弁数も多く、花にボリュームがあり、花持ち日数も前処理剤(クリザールK-20C)使用で22.8日と長く、対照品種「ライトピンクバーバラ」「レジーナ」よりすぐれる(表2)。

**〔成果の活用面・留意点〕**

1. 秋季に茎が硬くなるが切り花長が若干短くなるので、草丈を伸ばすため高規格ハウス隔離ベンチ栽培が適する。

[具体的データ]



写真1 「長崎3884」の花形・花色

表1 育成系統・品種の月別切り花品質の特性

| 品種名                    | 採花開始日 |     | 切り花長<br>(cm) | 切り花重<br>(g) | 輪数<br>(輪) | 下垂度 | 採花本数      | 4輪以上花率 | 1株当たりの採花本数 |
|------------------------|-------|-----|--------------|-------------|-----------|-----|-----------|--------|------------|
|                        |       |     |              |             |           |     | 月別<br>(本) | %      | 累積<br>(本)  |
| 長崎3884                 | 10/28 | 10月 | 66.9         | 28.0        | 4.6       | 1.0 | 0.1       | 100.0  | 0.1        |
|                        |       | 11月 | 71.6         | 31.6        | 4.7       | 1.0 | 1.0       | 96.4   | 1.1        |
|                        |       | 12月 | 75.4         | 35.9        | 5.1       | 1.0 | 1.2       | 99.5   | 2.3        |
|                        |       | 1月  | 76.0         | 38.2        | 5.0       | 1.0 | 0.6       | 98.4   | 2.9        |
|                        |       | 2月  | 78.8         | 40.6        | 5.4       | 1.0 | 0.7       | 98.6   | 3.6        |
| レジーナ<br>(対照)           | 10/9  | 10月 | 64.4         | 28.8        | 3.8       | 1.0 | 0.8       | 66.7   | 0.8        |
|                        |       | 11月 | 81.0         | 33.1        | 3.7       | 1.0 | 0.9       | 85.0   | 1.7        |
|                        |       | 12月 | 79.8         | 35.1        | 3.6       | 1.0 | 1.4       | 60.0   | 3.1        |
|                        |       | 1月  | 80.2         | 30.8        | 3.9       | 1.0 | 0.6       | 84.6   | 3.7        |
|                        |       | 2月  | 72.4         | 37.6        | 4.1       | 1.0 | 1.0       | 66.7   | 4.7        |
| ライトピンク<br>バーバラ<br>(対照) | 10/2  | 10月 | 56.2         | 22.9        | 5.3       | 2.0 | 0.1       | 100.0  | 0.1        |
|                        |       | 11月 | 68.5         | 21.3        | 3.3       | 1.2 | 0.4       | 50.0   | 0.5        |
|                        |       | 12月 | 71.1         | 26.7        | 4.3       | 1.4 | 1.1       | 75.0   | 1.6        |
|                        |       | 1月  | 71.4         | 28.4        | 4.6       | 1.1 | 1.0       | 92.9   | 2.6        |
|                        |       | 2月  | 68.7         | 32.4        | 4.9       | 1.0 | 0.5       | 100.0  | 3.1        |

注1：耕種概要は硬質フィルムハウス 隔離ベンチ栽培で、2009年6月18日に定植した。栽植様式は70cmベンチ株間10cm<sup>2</sup>条植え14000本/10a、一回目の摘心7月下旬、2回目の摘心9月中旬、3回目の摘心10月中旬。切り花品質調査は2009年10月採花開始～2010年1月31日まで行った。点滴灌水装置で常時施肥を行い、冬季は最低夜温11℃で管理した。

注2：下垂度は先端から50cmの位置で水平に保持し、下垂した角度。0°～10°=1とし、90°までを9段階に分類した数値。数値が小さいほど茎が硬い。

注3：4輪以上花率は、ブラインドの発生が無い花の採花率。

表2 育成系統・品種の萌芽数と花持ち日数、花の形質

| 系統名            | 1次摘心後萌芽数  | 花持ち日数(日) |      | 花径<br>(cm) | 花弁数<br>(枚) | 花梗長<br>(cm) | 2次花柄数 | 2次花柄長<br>(cm) |
|----------------|-----------|----------|------|------------|------------|-------------|-------|---------------|
|                |           | 無処理      | 前処理  |            |            |             |       |               |
| 長崎3884         | 6.1 ± 0.1 | 10.9     | 22.8 | 6.3        | 38.3       | 9.6         | 2.0   | 4.7           |
| レジーナ(対照)       | 5.7 ± 0.2 | 11.8     | 16.1 | 5.8        | 31.2       | 13.3        | 2.6   | 6.2           |
| ライトピンクバーバラ(対照) | 4.6 ± 0.3 | 9.6      | 13.3 | 5.2        | 26.6       | 12.2        | 1.7   | 9.8           |

注1：花持ち調査は2010年1月5日～2月1日採花分で行った。無処理区は水道水で、前処理区はクリザールK-20c1000倍液で、常温で10時間水揚げ後、外花弁が水平状態の開花ステージで採花した花を用い室温20℃、湿度70%、1000lux12時間電照に設定した恒温室内で調査した。花持ちは下表評点3以上の日数の平均値を花持ち日数とした。1次摘心後萌芽数調査は2009年8月24日、花の形質調査は、2010年1月14日に行った。

鮮度の評点

評点 鮮度評価

- 5 正常な花
- 4 花弁先端部にわずかに変色・インローリング(花弁の内側への巻き込み)の見られる花
- 3 インローリングが始まっているが、観賞に耐える花
- 2 萎ちょう・インローリングの明らかな花
- 1 萎ちょうの進んだ花
- 0 枯死

[その他]

研究課題名：カーネーションの新品種育成

予算区分：県単

研究期間：2009年～2013年

研究担当者：櫛山妙子